

あかるくすみよいまち

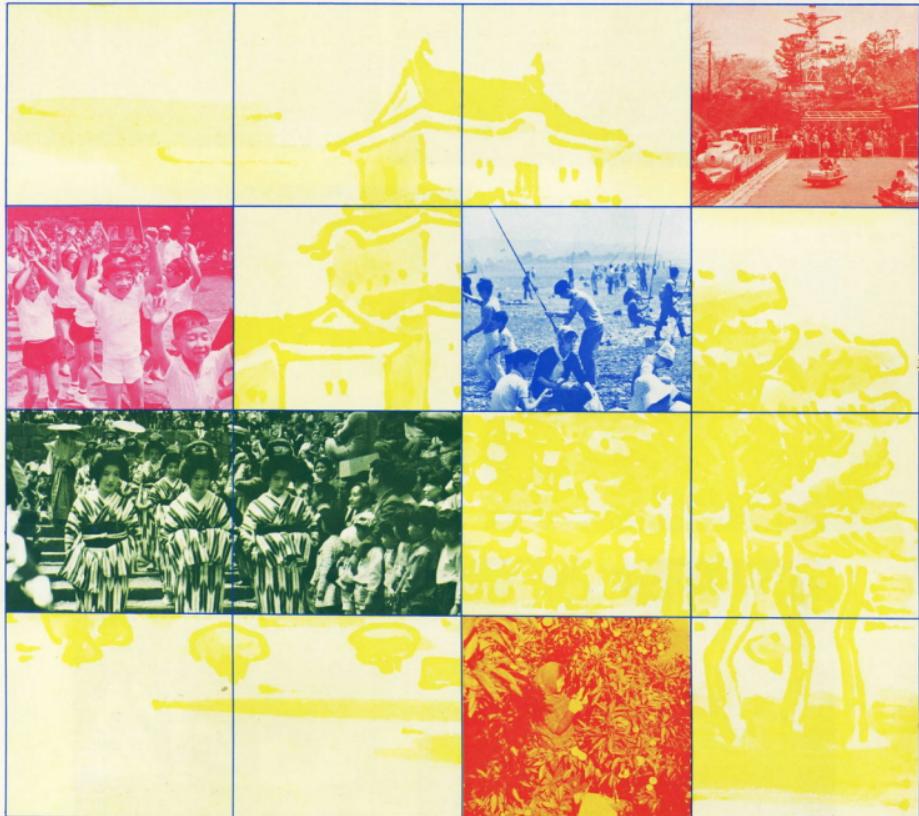
市制
30周年
記念号

広報おだわら

—特集—

昭和45年12月20日

編集・発行 小田原市広報課
小田原市城内3番22号 〒250
昭和29年10月25日第3種郵便物認可



小田原市長
小田原 中井一郎

思
う

「小田原に住んでいます。」などと「奥い」ところにお住いでですね。」とだれもかうらやむ。古い歴史と伝統につちかわされたまち。首都圏内に位置し、交通の便に恵まれ、温暖な気候と細やかな人情と美しい緑に人々の心が潤う文化都市小田原。これも、恵まれた自然への愛情と時代の息吹きを意識し、努力された先人によって守り育てられたものであり、近代都市に不可欠の産業経済、教育、福祉など、どの面をとっても他に誇りうるものであることは、郷土の発展に尽した人々のかぎりない成果といえましょう。

しかし、今後的小田原を考えるとき、進み行く道は、激動する社会情勢の中において、けして安易なものではなく、急速な社会の歩みが、好むと好まざるとにかかわらず、ますます人口の都市集中を強め、経済の高度成長に大きな飛躍を見せる反面、公害などさらにも多くの社会問題が激増することは必然と考えられ、小田原もこの例に漏れないといえます。私は、この一九七〇年代が持つ大きな課題に対し、郷土小田原の市民生活が、いつまでも明るく、楽しいものであるためには、守り継がれた自然保護を念頭に、新しい時代感覚の施策が必要であると確信しております。

この市制三十周年の記念日にあたり、諸先輩のこれまでのご努力に深甚なる敬意を表することともに、東西における広域市町村の中核都市としての小田原市の輝かしい未来に向って、力一杯努力いたしましたと存ずる次第です。

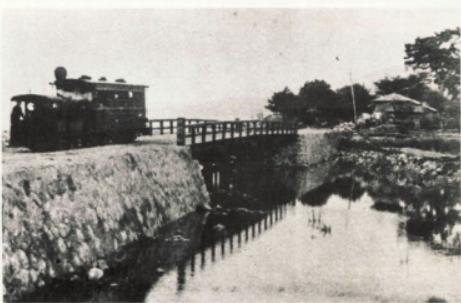
市制三十周年に



▲明治三十一年頃の小田原電気鉄道



▲熱海線が開通した大正9年頃の国府津



▲明治末期・浦川橋上の軽便鉄道

▼現在の国府津



▲現在は早川の小田原市魚市場付近



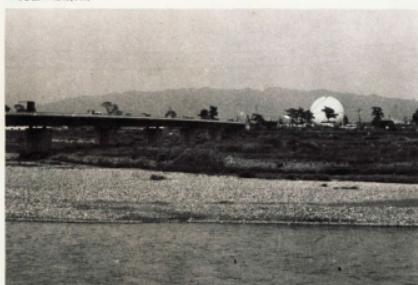
▲昭和15年頃、綱一色のグライダー練習場

▼現在の城東高校近く、西湘バイパスが通る





▲大正中頃の飯泉橋



▼現在の飯泉橋

*おだわらの いまとむかし



▲大正中頃のお堀端

▼現在のお堀端



▲大正初期の八つ桟道橋 旧ういろう

►現在の本町一丁目ういろう付近





◆41年12月消防厅會完成



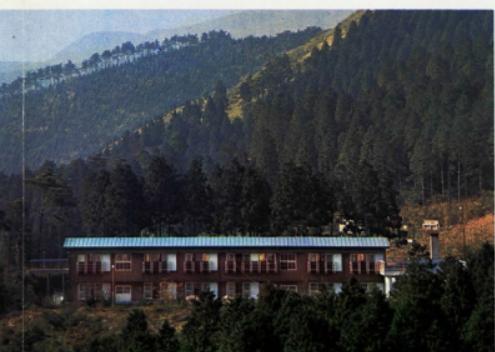
▲38年3月小田原漁港第1期工事完成



10



35年1月新開未人亦一ノ次



◀40年8月塔ノ峰青少年の家完結



◆37年7月市民会館大ホール開館(40年5月本館完成)

小田原市三十年の歩み



▲45年4月東富水小学校開校



▲42年4月泉中学校開校



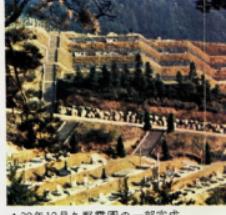
▲45年7月、新しい御幸の浜アーチ完成。



▲42年8月下水道終末処理場高級処理施設



▲44年7月高田浄水場一部完成

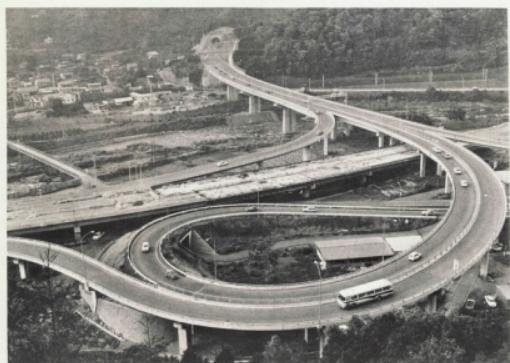


▲39年12月久野公園の一部完成

45年4月	市民通運害除の実施 に切り替え
44年2月	交通安全指導要定
7月	市行財事務に審計計算機の導入
43年4月	第1次住民表示による健保事業の実施
11月	妊婦婦と赤ちゃん牛乳無料料支給
42年4月	泉中学校開校
4月	献血事業の実施
5月	市民通運害除の実施(43年4月に交通事故害共災に切り替え)
7月	市行財事務の開始
43年4月	小田原市魚市場造成
4月	御幸の浜の開業
7月	市長選挙の実施
44年2月	御幸の浜スタート
7月	市長と話し合ひ会合
8月	泉中学校の設置
11月	東富水小学校および東富水地区を新設
7月	小田原漁港がさくら種漁港に併し、県へ移管

45年4月	市民通運害除の実施 塔峰青少年の実施
5月	市民通運害除の実施(43年4月に交通事故害共災に切り替え)
7月	市行財事務の開始
43年4月	下水道終末処理場で高級処理開始
11月	市長選挙の実施
4月	御幸の浜の開業
7月	市長選挙の実施
44年2月	御幸の浜スタート
7月	市長と話し合ひ会合
8月	泉中学校の設置
11月	東富水小学校および東富水地区を新設
7月	小田原漁港がさくら種漁港に併し、県へ移管

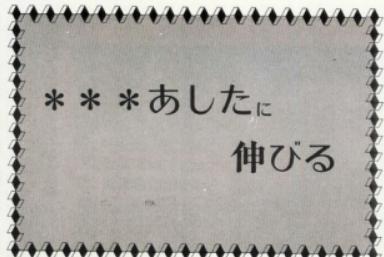
34年9月	敬老会・住民組織結成
34年10月	平塚新設工事完成
34年11月	自転車政策実行
34年12月	下水道10ヵ年計画実現
35年1月	星記念館完成、市立図書館・児童文化館として開館
35年2月	ガソリンの無料相談開始
35年3月	小田原城天守閣建設工事完成
35年4月	大根橋完成
35年5月	市長・幹木一郎誕生日選出
35年6月	酒谷町公園会場完成
35年7月	高速度化処理場完成
35年8月	消防分署を設置
35年9月	故翁英輔氏にちなんで名登川区の橋を名づける
35年10月	貴生川補導所の設置
35年11月	新しい市民歌「さくら」開唱
35年12月	市医師館大ホール開館
36年1月	城南町新校舎に移転
36年2月	市役所城内高崎跡移転
36年3月	小田原魚港第1工事完成
36年4月	農業構造改善事業の実施
36年5月	小田原市府津間内通話となる
36年6月	架橋工事中の飯岡橋開通
36年7月	水神・魚港の完成
36年8月	老の健康診査実施
36年9月	東京十三農業協同組合会合
36年10月	新幹線小田原駅開業
36年11月	軽便鉄道人ホームしがり江が完成
36年12月	市営久野公園の一部完成
37年1月	市長・幹木一郎誕生日選出
37年2月	上小原第2期排水事業完成
37年3月	市公会堂の本館完成
37年4月	新幹線人ホームしがり江が完成
37年5月	市行財事務の開始
37年6月	塔峰青少年の実施
37年7月	市民通運害除の実施
37年8月	塔峰青少年の実施
37年9月	市行財事務に審計計算機の導入
37年10月	第1次住民表示による健保事業の実施
37年11月	妊婦婦と赤ちゃん牛乳無料料支給
37年12月	泉中学校開校
38年1月	献血事業の実施
38年2月	市民通運害除の実施
38年3月	市行財事務の開始
38年4月	塔峰青少年の実施
38年5月	市民通運害除の実施
38年6月	塔峰青少年の実施
38年7月	市行財事務の開始
38年8月	塔峰青少年の実施
38年9月	市行財事務の開始
38年10月	塔峰青少年の実施
38年11月	市行財事務の開始
38年12月	塔峰青少年の実施
39年1月	市行財事務の開始
39年2月	塔峰青少年の実施
39年3月	市行財事務の開始
39年4月	塔峰青少年の実施
39年5月	市行財事務の開始
39年6月	塔峰青少年の実施
39年7月	市行財事務の開始
39年8月	塔峰青少年の実施
39年9月	市行財事務の開始
39年10月	塔峰青少年の実施
39年11月	市行財事務の開始
39年12月	塔峰青少年の実施
40年1月	市行財事務の開始
40年2月	塔峰青少年の実施
40年3月	市行財事務の開始
40年4月	塔峰青少年の実施
40年5月	市行財事務の開始
40年6月	塔峰青少年の実施
40年7月	市行財事務の開始
40年8月	塔峰青少年の実施
40年9月	市行財事務の開始
40年10月	塔峰青少年の実施
40年11月	市行財事務の開始
40年12月	塔峰青少年の実施
41年1月	市行財事務の開始
41年2月	塔峰青少年の実施
41年3月	市行財事務の開始
41年4月	塔峰青少年の実施
41年5月	市行財事務の開始
41年6月	塔峰青少年の実施
41年7月	市行財事務の開始
41年8月	塔峰青少年の実施
41年9月	市行財事務の開始
41年10月	塔峰青少年の実施
41年11月	市行財事務の開始
41年12月	塔峰青少年の実施
42年1月	市行財事務の開始
42年2月	塔峰青少年の実施
42年3月	市行財事務の開始
42年4月	塔峰青少年の実施
42年5月	市行財事務の開始
42年6月	塔峰青少年の実施
42年7月	市行財事務の開始
42年8月	塔峰青少年の実施
42年9月	市行財事務の開始
42年10月	塔峰青少年の実施
42年11月	市行財事務の開始
42年12月	塔峰青少年の実施
43年1月	市行財事務の開始
43年2月	塔峰青少年の実施
43年3月	市行財事務の開始
43年4月	塔峰青少年の実施
43年5月	市行財事務の開始
43年6月	塔峰青少年の実施
43年7月	市行財事務の開始
43年8月	塔峰青少年の実施
43年9月	市行財事務の開始
43年10月	塔峰青少年の実施
43年11月	市行財事務の開始
43年12月	塔峰青少年の実施
44年1月	市行財事務の開始
44年2月	塔峰青少年の実施
44年3月	市行財事務の開始
44年4月	塔峰青少年の実施
44年5月	市行財事務の開始
44年6月	塔峰青少年の実施
44年7月	市行財事務の開始
44年8月	塔峰青少年の実施
44年9月	市行財事務の開始
44年10月	塔峰青少年の実施
44年11月	市行財事務の開始
44年12月	塔峰青少年の実施
45年1月	市行財事務の開始
45年2月	塔峰青少年の実施
45年3月	市行財事務の開始
45年4月	塔峰青少年の実施



▲風祭インターチェンジ



▲国道255号線と小田原厚木線の交差



▲西湘バイパス



▲電化された御殿場線



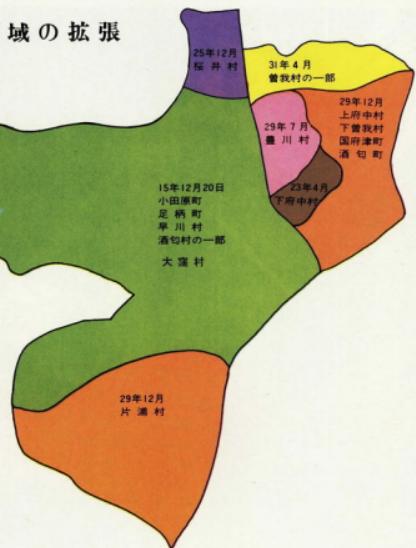
▲新幹線小田原駅構内



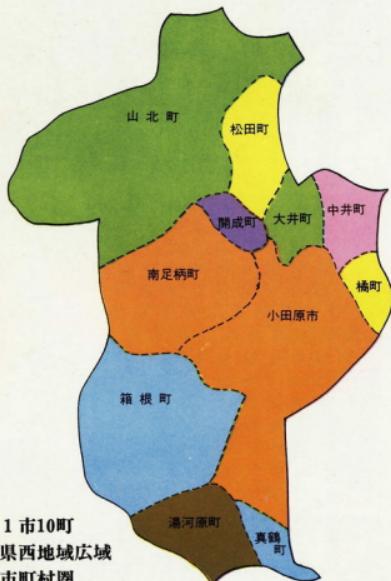
西湘バイパス早川地先の工事



市域の拡張



年月	世帯	人口
昭和15年12月	10,749	54,699
20.10	12,627	64,577
25.10	15,834	77,437
30.10	22,287	113,110
35.10	26,158	124,811
40.10	33,615	143,789
45.10	37,364	157,239



内訳 年度	歳入	歳出
15	62万9千円	66万7千円
20	328万7千円	279万5千円
25	2億9,543万4千円	3億3,798万1千円
30	5億8,976万4千円	7億310万8千円
35	11億4,707万6千円	11億800万6千円
40	32億3,677万4千円	31億3,105万6千円
45	当初予算 54億1,800万	当初予算 54億1,800万

一、富士の見える
梅の丘に
風あふれ
こゆるぎの
幸のものと
新しいいのち
つくりだす
街まち
小田原は若い港だ
ちから強い船が朝日に向う
ああ
黒潮の相模灘のりこえで
二、城の光り
樹々のみどり
したなれば
箱根路のうた声と
丹沢のくもに呼びかける
野や河
小田原は春の姿だ
虹を仰ぐ子らも明るく笑う
ああ
あしがらに大いなる影見せて

新小田原市民歌
作詞志澤正一
作曲水谷良一